

航空機操縦士養成連絡協議会  
航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

裾野拡大ワーキンググループ  
令和5年度とりまとめ

1. ワーキンググループ構成員

別紙のとおり

2. 令和5年度における取組み

(1) 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催

両協議会が連携し開催する「女性航空教室 Yes I Can!」について、令和5年度については令和6年1月14日に JAL SKY Museum ラウンジで実施した。参加人数に関しては、定員50名には達していたものの、9名が欠席となり、41名の参加となった。(オンライン参加4名)

今年度においては、初めてオンラインと対面のハイブリット形式で開催し昨年と同様に航空会社の訓練施設内で実施し、航空整備士・航空機操縦士・製造技術者・ヘリコプター操縦士から計8名の講師を招聘した。製造技術者については、中小企業(埼玉

県)からも招聘した。

講師による仕事の紹介及び講義、講師と参加者によるグループディスカッションや訓練施設の見学と充実したものとなり、参加者には貴重な体験となった。

また参加者だけでなく、講師の間でも企業や職種の垣根を超えた繋がる機会となった。参加者、講師及び開催スタッフへのアンケートを行ったところ、女性航空教室の開催に対して有意義との回答が多数を占める結果であった。しかしながら本取り組みに関して女性に限定した開催についての意見もあり、来年度以降のWG内で検討すべきと考える。

なお、本取組について日刊工業新聞および日刊鉄鋼新聞に掲載していただき、広報活動の点でも貢献した。

## (2) 航空機産業人材確保に関する取組み

あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムによる、航空機製造の中核的人材を確保・育成するための社会人向け航空機産業製造人材育成講座(オンデマンド)を行い、即戦力として必要な知識の定着を図った。加えて、高校生・大学生・専門学校生等向けの教育プログラムも実施し、航空宇宙産業の仕事に対する興味・関心を醸成した。

また、中部経済産業局は、エアロマート名古屋2023の開催に併せて、専門学校、工業高等専門学校、大学の生徒等を対象に航空サプライヤーとの交流を行い、航空機産業の関心を高める活動を実施した。

### (3) こども霞が関見学デー等のイベント実施

国土交通省における「こども霞が関見学デー」については、令和5年度は航空関連の取り組みは実施されなかった。本イベントにこだわらず、来年度以降は他のイベントへの参加、企画等についてもWG内で検討すべきと考える。

新たな取り組みとして全国工業高等学校長協会主催で実施している教員に向けた夏季講習会において、航空関係の講座については開講されていなかったことから整備士の裾野拡大につなげるべく航空会社及び航空技術協会、航空従事者指定養成施設等が連携し各地域での航空に関する講座を提供した。

令和5年度においては、全国で20講座を開催し、122名の教員の参加があった。

(整備士及びグランドハンドリングに関する講座)

### (4) 各航空会社・各団体における取り組み

日本航空宇宙工業会の主催により、中学生・高校生とその保護者を対象とし、重工や航空自衛隊基地の見学等、飛行機の魅力を体感するイベントを実施した。その他、各航空会社、各団体において全国各地における航空教室の実施や工場見学、空の日への参加等様々なイベントを通じ裾野拡大に係る活動を実施した。

## 3. 令和6年度以降の進め方

航空需要については、引き続き加速するものと思われ、よりいっそうの人材不足が懸念される。また、『整備士・操縦士の人材確保・活用に関する検討会』等も行われてお

り、協力して航空機産業人材確保の取組を実施していきたい。具体的には、各種イベントの機会を通じて、大学・航空専門学校・高等専門学校の生徒等を対象にした航空サブライヤーとの交流等を行い、航空機産業への関心を高めていくことを予定している。

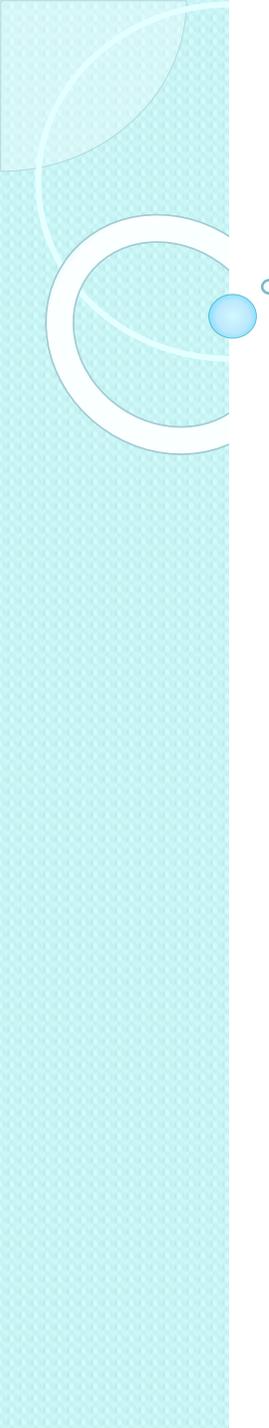
あわせて、整備士養成施設である航空専門学校からの強い要望がある「整備士」に関する広報活動についても幅広く取り組んでいくことが重要である。

その他の取組みについても関係機関と連携しつつ、可能な限り継続して実施されることが望ましい。また、両協議会事務局からその他裾野拡大に関する取組みについて協力依頼があった場合は、引き続き関係者の積極的な協力が期待される。一方で、協議会員各位においても、裾野拡大に関する取組みを検討する上で、個社での実施が難しい場合は他の会員に協力を要請したり、協議会事務局へ相談したりするなど、相互に協力して取組むことも想定される。

裾野拡大ワーキンググループは令和 6 年度以降も存続し、別途開催する必要があると判断した場合に開催するものとする。なお、ワーキンググループは各協議会の取組みの内容により、協議会ごとに開催する場合も想定される。

#### <<添付資料>>

- ・裾野拡大ワーキンググループ令和 5 年度とりまとめ参考資料
- ・裾野拡大ワーキンググループ構成員名簿



# 裾野拡大ワーキンググループ 令和5年度とりまとめ参考資料

# 現役の女性操縦士・ 女性整備士・女性製造技術者による講演会

## ■ 「女性航空教室 Yes I Can！」

女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者（中小企業を含む）による仕事の紹介、講演及び訓練施設の見学を実施した。令和5年度については、令和6年1月14日に初めてオンラインと対面のハイブリット形式により航空会社の訓練施設で実施し、参加者についてはより航空業界を身近に感じられる中での開催となった。

【令和5年度 開催案内】

【参加者、講師による記念撮影】

【参加者の状況】

**Yes, I Can! 女性航空教室**

就職の道開く女性航空従事者のお話を聞いてみませんか？  
～航空業界を目指す女性のための航空教室～  
オンラインでもご参加いただけます

【日 時】 2024年1月14日（日）10：00-17：00（受付開始時刻 9：30）【参加費】無料

【場 所】 JAL SKY Museum プラザ（東京都羽田国際空港第3ビル5-1）  
展示棟1階・東ホール（1F・新整備場）（普通のみ乗車）より徒歩2分

【対 象】 航空業界への就職を志望する中学生～30歳の女性の方  
航空操縦士・航空整備士・航空機製造技術者（ハコブタ-操縦士・整備士と関係のある方）

【定 員】 会場：50名、オンライン：150名

【申 込】 skyworksへメールで <https://www.skyworks.info/>

【締 切】 2024年1月5日（金）※定員に達した場合は先着順に限りご参加いただけます。

【参加費】 無料

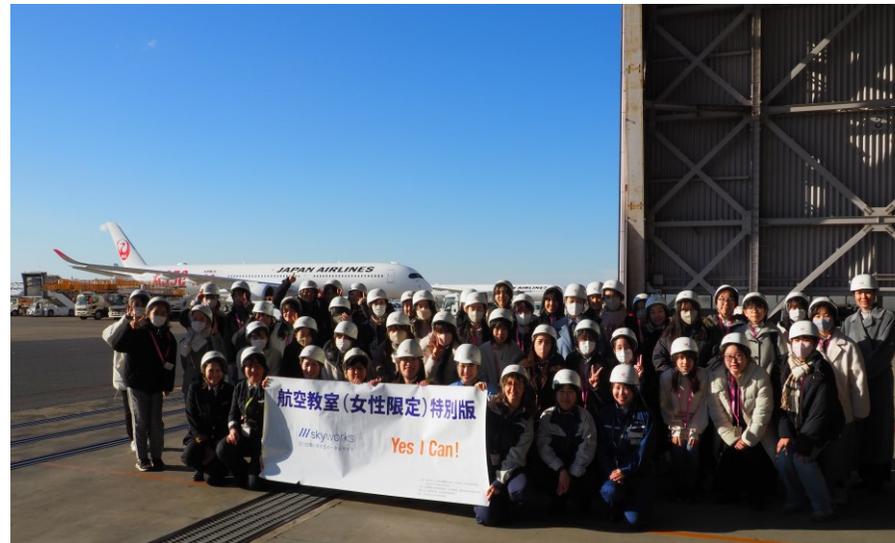
【講 師】 （予定）  
航空操縦士（JALフライトア）、航空整備士（JAL/スカイマーク）  
航空機製造技術者（JAL/大和航空）  
ハコブタ-操縦士・整備士（中日本航空）

【内 容】 ▶航空操縦士、航空整備士、航空機製造技術者、ハコブタ-操縦士・整備士の講話  
▶JAL施設見学  
▶講義とグループディスカッション（実参加のみ）

【その他】  
\*お集まりの方で決まる場合はJAL SKY Museum 入場券が必要です。施設内に入場はできません。  
\*昼食は無料内食費（現金のみ）をご用意いただけます。お弁当の持参も可能です。  
\*お申し込みは無料です。

主催：公益財団法人日本航空操縦士協会、公益財団法人日本航空整備士協会、公益財団法人日本航空機製造技術者協会、一般社団法人日本航空女子学生連合会、一般社団法人日本航空事業推進委員会、一般社団法人日本女性航空従事者協会

後援：航空操縦士・整備士専攻会、航空操縦士・整備士専攻会航空機製造技術者協会、機上・交通電報空用（予定）、機上・交通電報空用（予定）、文部科学省研究開発局（予定）



実施年度	参加人数	参加形式
令和元年度	78名	対面
令和2年度	0名	中止
令和3年度	60名	オンライン
令和4年度	47名	対面
令和5年度	41名（4名）	対面 オンライン

## 航空機産業人材確保に関する取り組み

■ あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムによる航空機製造における中核的な人材を確保・育成するための社会人向け航空機産業製造人材育成講座（オンデマンド）を行い、即戦力となるための知識の定着を図った。加えて、高校生・大学生・専門学校生等向けの教育プログラムも実施し、航空宇宙産業の仕事に対する興味・関心を醸成した。

また、中部経済産業局は、エアロマート名古屋2023の開催に併せて、専門学校、工業高等専門学校、大学の生徒等を対象に航空サプライヤーとの交流を行い、航空機産業の関心を高める活動を実施した。

## イベント等の企画・参画

- 全国工業高等学校長協会主催で実施している教員に向けた夏季講習会で航空に関する講座を開催  
（整備士およびグランドハンドリング 20講座開催し122名の参加）
- 各航空会社・各団体における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）